

グローバル対応に向けて
標準業務を見極めて各国への展開を計画・実行する

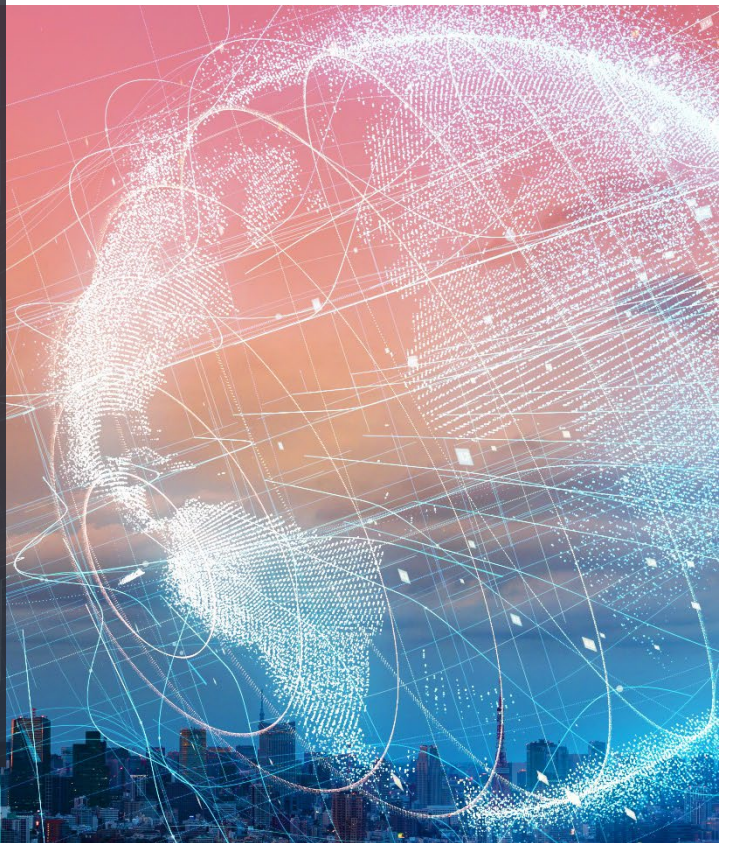
グローバル業務標準化・システム展開サービス

少子高齢化による人口減少や燃料の高騰によるコストの増加など、国内市場は縮小する一方であり、日系企業にとってグローバル化は避けて通れない道となっています。グローバル化するうえで、グローバル業務標準化・システム展開は、必須対応の一つです。

現状、国内企業と同じ業務においても統一がなされていないので、グローバルにおいては、なおさら、その不統一さが顕著に表れます。また、展開国の商習慣や法規制・税制、システム環境の差異などを熟知していることが求められます。

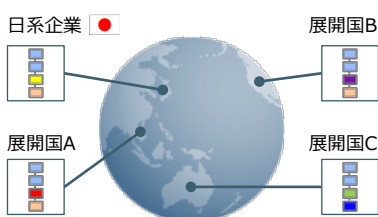
日立コンサルティングは、このようなプロジェクトを成功に導いてきた実績があるため、日系企業が必ず直面する問題の勘所やその解消方法を熟知しています。今までの経験に裏打ちされた確かなプロジェクト推進力により、迅速かつ確実にプロジェクトを進めていくことが可能です。お客さま自身がグローバルプロジェクトをどう進めてよいかわからない場合、小さな工数でアドバイザー的な支援内容でスタートすることも可能です。また、ある程度グローバルプロジェクトの実施目的が明確な場合は、チームを構成し対応することも可能です。

私たちの知見やノウハウ、方法論および日立グループの知見を生かしてご支援させていただきます。



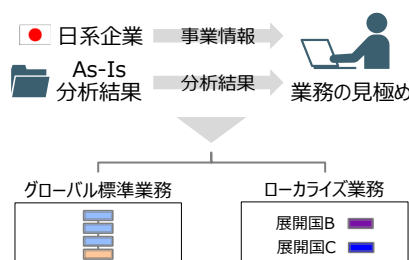
STEP 1 現状業務の収集・分析

グローバルに展開/分散している現状業務を収集し、調査・分析。課題を抽出します。



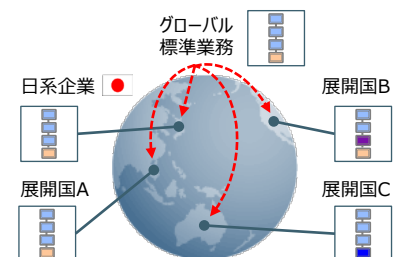
STEP 2 業務の見極め

お客さまのコアコンピタンスを理解し、グローバル化するもの、あえてローカライズするものを見極めます。



STEP 3 To-Be業務・システムの展開

あるべきグローバル標準業務とシステムの姿を描き、各国への展開を推進します。



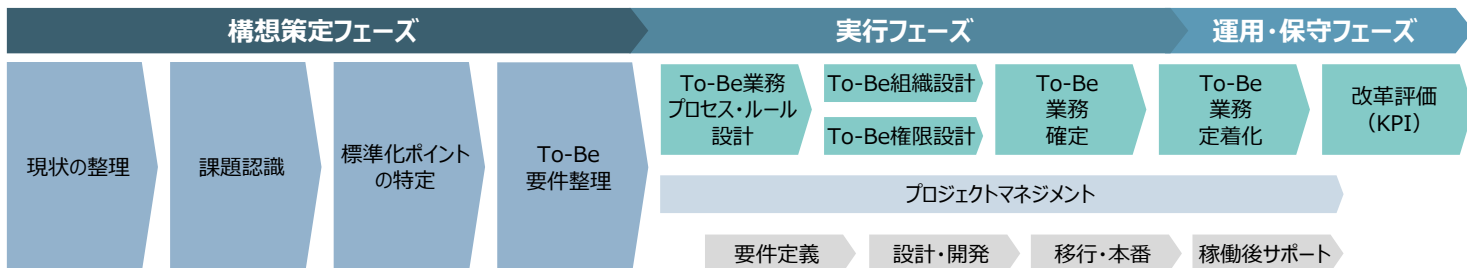
■ こんなお客さまにお勧めします

- ☑ グローバルプロジェクトの進め方が分からない。
- ☑ 業務標準化に向けて、グローバル統合するものとローカライズするものの区別がつけられない。

■ プロセスとタスク

グローバル業務標準化・システムプロジェクトにおいて、構想策定から稼働後の運用サポートまで、業務とシステムの視点から適切なサービスを提供します。

【日立コンサルティングのメニュー】 ■ グローバル構想策定 ■ グローバルPMO ■ グローバルチェンジマネジメント



フェーズ	分類	プロジェクトのタスク	日立コンサルティングのタスク説明
構想策定	業務/システム共通	現状の整理	本社・海外拠点の組織構造、拠点ごとの会社概要（ビジネス概要、売上高、従業員数など）を理解。 本社・海外拠点の既存の業務・システムの理解と整理。 *拠点ごとに業務・導入済みITを整理。特に何が共通化されていて何が個別最適化されているかを調査。
		課題認識	お客さまが認知している業務・システム課題のみならず、外部の知見/他社事例から想定される課題についてお客さまへの確認を繰り返しながら課題を整理。
		標準化ポイントの特定	現状の整理と課題からグローバル標準化する業務・システムと個別最適化する業務・システムの評価基準を明確化。
		To-Be要件整理	業務・システムのあるべき姿（ハイレベルでのTo-Be業務フローの作成、To-Be業務検討ポイントの明確化、To-Beシステム概要、検討ポイントの明確化）を整理し計画書を作成。
実行	業務	To-Be業務プロセス・ルール設計	現場や開発チームにヒヤリングし、To-Be業務プロセスやルールを設計。また、プロジェクト関係者への共有を目的とし、業務変更点の洗い出しも実行。
		To-Be組織設計	構想策定のあるべき姿とTo-Be業務を参考にして適切な組織設計を実行。
		To-Be権限設計	構想策定のあるべき姿とTo-Be業務を参考にして適切な権限設計を実行。
		To-Be業務手順確立	To-Be業務手順について、現場と開発チームから承認を得る。またTo-Beの業務を実行するための手順（マニュアルorシステム）を決定。
		To-Be業務定着化	To-Be業務フロー、変更点を説明し、現場から理解を得る。また、トレーニングを管理し、To-Be業務手順を習得。
	プロジェクトマネジメント	業務・システムの変革をお客さまが受容できないと変革の成功とは言えない。そのため単なる事務局機能的なPMOとしてだけでなく、司令塔として、ビジネスユーザや開発チーム等のステークホルダーと連携しプロジェクトをドライブ。	
運用・保守	業務	To-Be業務定着化	稼働後に変更になった業務について、再度現場に変更点を理解してもらい、To-Be業務手順を習得。
		改革評価（KPI）	計画書で設定したKPIを集計し、達成できているか否かを把握・分析し、経営層やPMに内容を報告。

●サービスの仕様は、改良のため変更することがあります。ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。 ●詳細な見積条件などはwebサイトから、または弊社担当営業へお問い合わせください。

◎ 株式会社 日立コンサルティング

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-4-1 麹町大通りビル11F 電話番号(代表) : 03-6779-5500

<https://www.hitachiconsulting.co.jp/>